

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度（令和2年度）	科目名	演劇表現演習Ⅰ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名	声優コース	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	レジュメ、資料配布				
担当教員情報					
担当教員	オーハシヨースケ	実務経験の有無・職種	有・俳優・演劇教育家		
学習目的					
身体知（Embodiment）やドラマ・エデュケーション、ドラマ・セラピーや、アート・セラピー、マインドフルネスそして身体詩のアクティंगレッスンを使って、生徒のセルフイステーム・自己肯定感を豊かに育み、自分の未来に対するポジティブなマインドセットを形成し、自らの「やる気スイッチ」の在りどころを知り、モチベーションを高く人生に立ち向かうポジティブマインドを育てる。					
到達目標					
ポジティブで創造的なココロとカラダの状態を育み、演技する力・パフォーマンスする力で人生の可能性を切り開く成功力を身に着ける。具体的には① 想いをカタチにする自己表現力 ② 自分の魅力を引き出す自己演出力 ③自分をステキに人に伝えていくプロデュース企画力、3つの力を高めて、演技を通して自分の人生に前向きに向き合い、自己実現力を高める。					
教育方法等					
授業概要	①メンタルスキル（イメージング、アファメーション、メディテーション、陽気・ポジティブネス）②コミュニケーションスキル（Ⅰ共感・反映、ⅡインプロⅢアサーティブⅣコーチング）③ボディ・シンキング、ボディ・リフレクション（自分軸を作る、考え方・物の見方をカラダを通して鍛える）④マインドフルネス（呼吸・姿勢・瞑想、ソウルハンドダンス、身体詩）				
注意点	毎回カラダを動かすので、動きやすい服装で参加。心を鍛えるのであるが、それはカラダを通して心を鍛えるのでカラダを使います。				
評価方法	種別	割合	備考		
	言葉を紡ぐ力	10%	毎回必ず授業から得た身体感を言葉にしてもらおう。自分の言葉を紡ぎ出す力。		
	振り返り	20%	今日やったことへの振り返りが仲間と共有できる		
	チームワーク	20%	チームワークに対するリーダーシップ力		
	自己アピール	20%	授業課題に対する個人としてのアピール力		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（ ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	メンタルコミュニケーション（1）	立ち位置の力～立ち位置による自分のコミュニケーション力の問題点を知る			
2回	コンプレックスワーク（1）	5レンジャーのセリフと演技を使い、自己肯定力を高め、コンプレックスを克服する			
3回	イメージングワーク（1）	イメージの力を認識し、ポジティブな自己イメージを創る 身体とイメージの関係に気づく			
4回	アファメーションワーク（1）	言霊の力を認識し、自己宣言文を創る 自分の言葉を持つ			
5回	メンタルアクティंग（1）	演技の力を通して、人生を切り開く力を自覚する			
6回	3つのほぐし体操（1）	マスクを使ってキャラクターのある声を創る ～心の声を大切に～			
7回	3つのほぐし体操（2）	マスクを使ってキャラクターのある声を創る ～場面（駅で待つ）を作って～			
8回	3つのほぐし体操（3）	マスクを使ってキャラクターのある声を創る ～状況を作って（キャラの声と行動を作る）～			
9回	3つのほぐし体操（4）	「椅子物語」の7つの声キャラを演じる			
10回	3つのほぐし体操（5）	椅子物語を自分たちで創り、声キャラを創り、演じる			
11回	メンタルコミュニケーション（2）	世界に対する基本的な立ち位置を認識して、自分の人生のシナリオを創る			
12回	コンプレックスワーク（2）	自分の弱点・長所をEQの視点から認識する。楽観性を身に付ける			
13回	イメージングワーク（2）	自分の将来イメージをビジュアルに、マップ化する「夢宝地図」			
14回	アファメーションワーク（2）	心の言葉、目が語る力を意識する			
15回	メンタルアクティंग（2）	ベラレーヌシステムを一通り学ぶ			